

注目ワード

- 新型コロナ 国内感染者数 新型コロナ ワクチン (日本国内) 新型コロナウイルス 聖火リレー オリンピック
オリンピック・パラリンピック 事件 福島第一原発 処理水

もっと見る



あなたの天気・防災

気象 データマップ

鉄道運行情報

NHK+ 番組をPC・スマホから (同時配信・見逃し配信)

ニュースを検索 検索

B型肝炎再発患者訴訟 患者側の訴えを認め 最高裁

2021年4月26日 17時47分

集団予防接種が原因でB型肝炎が再発した患者への国の給付金が、発症から20年が過ぎると減額されるのは不当だと福岡の患者が国を訴えた裁判で、最高裁判所は、患者側の訴えを認めて減額せずに賠償を認めるべきだという判断を示しました。



福岡県の60代の患者2人は、B型肝炎が再発した患者への国の給付金が、最初の発症から20年が過ぎると減額されるのは不当だと国を訴えました。

1審の福岡地裁は患者側の訴えを認めて国に賠償を命じた一方、2審の福岡高裁は「再発

ソーシャルランキング

この2時間のツイートが多い記事です

1 公共電話 国の設置基準緩和で台数約4分の1に減る見込み

2 新型コロナ 国内の死者1万人超える 約80%は去年12月以降死亡

3 インドの新たな変異ウイルス 国内で21件確認 官房長官

4 “撮り鉄”トラブルか 中学生突き飛ばされだけが 男逃走 埼玉

5 多趣味な高齢者ほど死亡リスク低下 “誰か誘って手軽なことを”

ランキング一覧へ

アクセスランキング

した慢性肝炎が以前に発症したものと質的に異なるとはいえない」として、1審を取り消して患者側の訴えを退けました。

この24時間に多く読まれている記事です



これについて最高裁判所第2小法廷の三浦守裁判長は判決で「慢性肝炎の症状は、最初の発症と再発とでは質的に異なる。損害賠償の基準は再発した時点にすべきだ」と指摘しました。

そのうえで、患者側の訴えを認めて減額せずに賠償を認めるべきだという判断を示して2審の判決を取り消し、高裁で賠償額について審理し直すよう命じました。

また、三浦裁判長は補足意見で「被害が極めて長期にわたる実情を考えると、再発した今の患者たちと同じ状況にある患者も含めて全体的な解決を図るため、国は必要な協議をい、被害者の救済という責務を適切に果たすことを期待する」と述べ、国に対し被害者救済に幅広く取り組むよう求めました。



患者 平野裕之さん「うれし涙が出た」

判決のあと、訴えていた患者と弁護団は東京 千代田区で会見を開きました。

患者の平野裕之さん（62）は「私の訴えはこのまま認められないのではないかとこの恐怖心がずっとありました。最高裁で認められた瞬間はうれし涙が出た。同様に裁判を起こしている患者たちにとってもいい判断が出て本当によかった」と話しました。

また、九州で弁護団の代表を務める小宮和彦弁護士は「B型肝炎が再発した患者たちにとって、早期の解決につながる意義のある内容だ。さらに、裁判長の補足意見では国に対して協議と解決を促しているの、弁護団として、厚生労働省などに向けあって、解決を求めていきたい」と述べました。

注目のコンテンツ



都道府県別の感染者数データ 特設サイト 新型コロナウイルス

緊急事態宣言 暮らしはどうか 東京の生活情報

緊急事態宣言に伴う東京の生活関連の情報をまとめています



1

料理研究家 神田川俊郎さん死去 テレビ番組に多数出演

2



参院広島選挙区再選挙 立民など推薦の宮口治子氏が初当選

3



維新 梅村みずほ参議院議員の公設秘書 殺人未遂の疑いで逮捕

4



名古屋市長選 現職の河村たかし氏が当選 4期目へ

5



東京 新型コロナ425人 感染確認 26日連続で前週上回る 死亡なし

▶ ランキング一覧へ